

2011.11.19

# イギリス音楽—その歴史と名曲を訪ねて

## プログラム

今日はイギリス音楽特集です。イギリス音楽の歴史を辿りながら名曲、佳曲の数々を聴きましょう。名リュート奏者として名をはせ、また芸術歌曲の発展に大きな影響を与えたイギリス最初の大家、ダウランドは歌曲としても有名な涙のパヴァーヌの他3曲を。続いて17世紀後半には、歌劇、劇音楽、器楽作品等、短い生涯の間に400曲以上の作品を残したと言われるパーセルが登場します。今日は後に20世紀最大のイギリス作曲家ブリテンがその主題を使って作品を書き上げたことでも知られる「アブデラザール」組曲とブリテンの作品も合わせて聴いていただきます。近代イギリス音楽の父とも言うべき作曲家、エルガーの交響曲第1番は、美しさ、力強さに高貴さを持ち合わせたイギリスの交響曲を代表する秀曲。85歳まで作曲を続けた大器晩成型の作曲家ヴォーン・ウィリアムズは様々な楽器の作品を残していますが、今日はヴァイオラと管弦楽のための組曲と有名な「グリーンズリーヴスによる幻想曲」を。「激しい雨風に舞う落ち葉。やがてそれが静かな空気に変わって行く…」そんな情景を描いたフィンジ最後の管弦楽作品が「落ち葉」です。多彩なリズムと独特の色彩感が魅力のウォルトンの交響曲第1番は、エルガーと並んでイギリス交響曲を代表する傑作。今日はイギリス音楽の魅力を少しでも感じて頂ければ、と思います。

\*\*\*\*\*

**ジョン・ダウランド (1563~1626):**

涙のパヴァーヌ (ラクリメ)

ニコルズ夫人のアルマンド

ナイジェル・ノース (リュート)

(2005.6、2004.7録音)

歌曲 “今こそ、私は別れよう”

ロバート・ティアー (テノール) / ジュリアン・ブリーム (リュート) ・コンソート

(1988.11.11 東京文化会館小ホールでのLive)

**ヘンリー・パーセル (1659~1695):**

劇音楽 “アブテラザール” 組曲

マルコム・アーノルド指揮BBC交響楽団

(1969.8.16 ロンドン、ロイヤル・アルバートホールでのLive)

**ベンジャミン・ブリテン (1913~1976):**

青少年のための管弦楽入門 (パーセルの主題による変奏曲とフーガ) op.34 から

ゲンナジ・ロジエストヴエンスキー指揮BBC交響楽団

(1981.5.23 NHKホールでのLive)

**エドワード・エルガー (1857~1934):**

交響曲第1番変イ長調 op.55 ~ 第1楽章から、第3楽章から、第4楽章

コリン・デイヴィス指揮バイエルン放送交響楽団

(1993.8.16 ミュンヘン、ガスタイクホールでのLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

**ラルフ・ヴォーン・ウィリアムズ (1872~1958):**

ヴァイオラと管弦楽のための組曲 ~ フレリユード、ギャロツフ

マキシム・リサノフ (ヴァイオラ) / イルジー・ビエロフラーヴェク指揮BBC交響楽団

(2010.9.11 ロンドン、ロイヤル・アルバートホールでのLive)

グリーンズリーヴスによる幻想曲

ネヴィル・マリナー指揮アカデミー室内管弦楽団

(1986.4録音 フィリップス盤)

**ジェラルド・フィンジ (1901~1956):**

管弦楽のためのエレジー “落ち葉”

レナート・スラトキン指揮BBC交響楽団

(2001.9.16 ロンドン、ロイヤル・アルバートホールでのLive)

**ウィリアム・ウォルトン (1902~1983):**

交響曲第1番変ロ短調 ~ 第1楽章から、第3楽章から、第4楽章

尾高忠明指揮BBCウェールズ交響楽団

(1993.7.27 ロンドン、ロイヤル・アルバートホールでのLive)